

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する
医療および移行期医療支援に関する研究

研究分担者 中野裕太 あいち小児保健医療総合センター 眼科 専門員

研究要旨

診療や療育体制も確立されていない視覚・聴覚二重障害児における症例の分析を行い、愛知県における療育の現状を示した。

A. 研究目的

視覚・聴覚二重障害児はまれであり、診療や療育体制も確立されていない。当院における視覚・聴覚二重障害児の現状を調査し、その問題点を検討した。

B. 研究方法

当院通院中の視覚・聴覚二重障害児の症例において、初診時年齢、性別、原因疾患、視覚・聴覚重症度による分類、精神発達障害の有無を評価した。

C. 研究結果

CHARGE症候群の症例では難聴とコロボーマの合併を認めたが、視力は症例によって良好なものもあった。

D. 考察

二重障害の程度によって盲学校や聾学校への案内など、自立に向けた支援が必要と考えられた。

E. 結論

精神発達遅滞も伴っていることも多く、家族のサポートも不可欠である。多職種による支援が必要と考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表
該当なし
2. 学会発表
該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし